

終始業式にあたって



PTA文化祭売上金贈呈式(7月10日)



1年家庭基礎ライフデザインセミナー(7月11日)



国際教養科 満州移民について学ぶ(7月15日)



3年希望者 県内国公立大学研究会(8月1日)



飯田人形劇フェスタ ボランティア(8月7日)

戦後 80 年を迎えて

今年は戦後 80 年。この夏は、新聞やテレビ、地域の集会などで、戦争を幼少期に体験された方々が、次世代の私たちに、いままで苦しくて言えなかったことを、勇気をふりしぼって語る姿が数多くありました。

戦争体験というと、良く知られた悲劇的な出来事や物語でひとくくりイメージしがちですが、先の戦争で亡くなった日本人が約 310 万人と言われている中、戦後 80 年のこの夏は、戦争で亡くなった方々やあとに残されたご家族ひとりひとりに、それぞれ個別の物語があるということを改めて知る機会になりました。

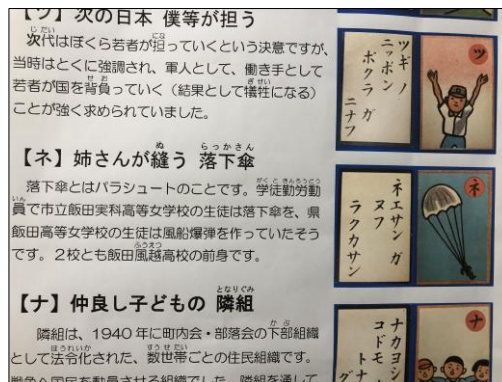
8月に結いスクエアで戦争展が行われていました。私は、幼いころ満州から引きあげてこられた方の話を聞きました。当時6、7歳だったそうですが、一緒に逃げていた叔母さんが、自分の乳飲み子を川に流して殺してしまうところを見てしまったそうです。その場面も細かく語っていただきましたが、80 年を経た今でも、その場面が夢に出てくるそうです。

また、同じく8月の新聞記事でしたが、特攻隊で出撃する直前に一時帰郷を許された息子を、最後に駅で見送る際、交わす言葉もない中、最後に「しっかりしなさい」と言ってしまったことをずっと悔み続けている母親の話もありました。

みなさんも、戦争の悲惨さを描いた物語や映画を数多く読んだり、見たりしてきていると思いますが、あくまでそれはごく一部で、すべての人にそれぞれ悲惨な物語があるということをあらためて認識して、戦争が、ひとの人生にどのようなつらい出来事を引き起こすのか、これからもずっと読み続け、聞き続け、知ろうとする努力を続けていかなければならないと思います。

戦時中、戦意高揚をはかるために作られた「戦争かるた」

【ネ】姉さんが縫う 落下傘



学徒勤労動員で、市立実科高等女学校の生徒は落下傘を、県立飯田高等女学校の生徒は風船爆弾をつくっていたそうです。2校とも飯田風越高校の前身です。 (結いスクエア戦争展より)



カンボジア・スタディツアー(7/30-8/5)



新 ALT オーロラ先生着任(8月26日)



学輪 IIDA フィールドスタディ(8月21日)



生徒会役員選挙 立会演説会(9月4日)



1, 2年生 大学模擬講義(9月8日)



演劇同好会 下伊那高校演劇発表会(9月13日)

ALT のオーロラ先生が着任しました

7月末に異動になったブリアナ・ホーム先生の後任として、オーロラ・マヤスター・バーンズ先生が着任されました。オーロラ先生はアメリカ合衆国ユタ州出身で、大学では日本語を専攻され、日本の文化や歴史にとっても関心があるそうです。スポーツも好きで、来月のクラスマッチをとっても楽しみにしています。皆さん、ぜひ気軽に声をかけてください。

生成 AI の時代だからこそ、実体験や生きた感動を！

さて、夏季休業中は、3年生は進路に向けて本格的に準備を始め、1, 2年生は宿題に加えて、部活動や校外の活動に参加するなど、それぞれ思い思いに過ごしてきたと思います。

校外活動では、病院や施設などでの医療職体験、公民館イベントでの発表や子ども食堂などのお手伝い、人形劇フェスティバルやサマーチャレンジボランティアなどの活動、さらには、カンボジアや能登などへのスタディツアーや学輪 IIDA のフィールドワーク、地元の竹林整備活動などに参加した人たちもいました。

みなさんには以前から「心が動いたら一歩踏み出す」ことや「失敗も含めて貴重な経験」ということを話してきました。

生成 AI の急速な進歩で、その便利さとともに課題も指摘されてきています。AI は、人間のように実体験から新たな知識や知恵を生み出すことはできないと言われています。AI の時代だからこそ、自分の目で見、手で触れること、そして驚きや感動などの感情が大切だとも言われ始めています。

考えてみると、これはなにも AI が登場したからのことではなく、普段の学習や部活動、生徒会活動にもあてはまることです。知識や理論、これまでの慣習を鵜呑みにするのではなく、それらに疑問を持ったり、実験して試してみたり、振り返り検証することは様々な場面で必要だと思います。

この8月、私の家の近くのデイサービスに、みなさんの先輩で現在大学2年生の二人が1週間の実習に来ていました。ふたりとも将来教師を目指していて、教員免許取得のための実習だったようですが、お年寄りの介護や話し相手など、ミスを恐れず自ら進んで行動する様子がとても立派だったそうです。私自身とても誇らしく思いました。

3年生、そして1, 2年生のみなさんにも

3年生のみなさんは、これから進路実現に向けて、粘り強い努力と不安と緊張に耐える強さが求められます。共通テストの出願も始まり、就職希望者の面接選考も先週の火曜日から始まっています。そんな中、補習授業に熱心に取り組む姿や、朝や放課後に、進路学習室や HR 教室、図書館などで勉強する姿をとめたのもしく思います。

すぐに成果が出るとは限りません。むしろ出ないことの方が多いかかもしれません。しかし、努力を続けることで、目標に少しずつ近づいていけるはずです。

悩んだら、自分だけで抱え込まずに、友達や信頼できる先生、話しやすい先生に、ぜひ相談してください。話すだけでも気持ちが楽になります。アフリカには「早く行きたければ一人で進め。遠くまで行きたければ、みんなで進め。」ということわざがあるそうです。高い山、長い道のりに思えても、先生や仲間とともに歩き続けることが大切です。

学校は、人と人とが出会って、学び合い、助け合い、励まし合って、共に成長する場です。生徒会の新たな役員も決まりつつあります。風越高校が、みなさんが安心して、様々なことに挑戦でき、失敗も許容しながら、一人ひとりが自分らしく成長できる場であり続けるよう、みんなで一緒に歩き続けていきましょう。